

安全率推移表

	令和元年	H11年	H12年	H13年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
すべり面	1.15	1.00	1.03	1.08	1.08	1.04	1.11	1.01
A-1-aすべり面	1.15	1.00	1.03	1.08	1.08	1.04	1.11	1.01

孔内水位表

孔名	H11年			H12年			H13年			令和元年			令和2年			令和3年			令和4年			令和5年			令和6年			令和7年		
	H.W.L	L.W.L		H.W.L	L.W.L		H.W.L	L.W.L		H.W.L	L.W.L		H.W.L	L.W.L		H.W.L	L.W.L		H.W.L	L.W.L		H.W.L	L.W.L		H.W.L	L.W.L				
B11-1'孔	9.86	—	11.09	—	14.1	—	13.01	17.94	10.90	15.32	14.14	16.65	10.25	17.23	11.35	15.90	11.09	15.82	11.09	16.64	14.91	16.80								
B11-2'孔	9.40	—	9.48	—	8.94	—	9.91	10.21	9.86	10.21	10.13	10.20	9.42	10.48	9.51	9.54	9.32	9.53	9.32	9.53	9.51	9.53								
B11-3'孔	0.62	—	0.78	—	0.75	—	0.38	5.18	0.32	4.96	0.38	4.92	0.33	4.99	0.34	4.79	0.35	4.29	0.35	4.83	0.40	4.88								
BP31-1'孔	—	—	—	—	—	—	11.65	13.66	11.34	13.68	12.77	13.54	10.29	13.58	11.58	13.34	11.60	13.22	11.60	13.28	12.98	13.29								

安定解析結果一覧表

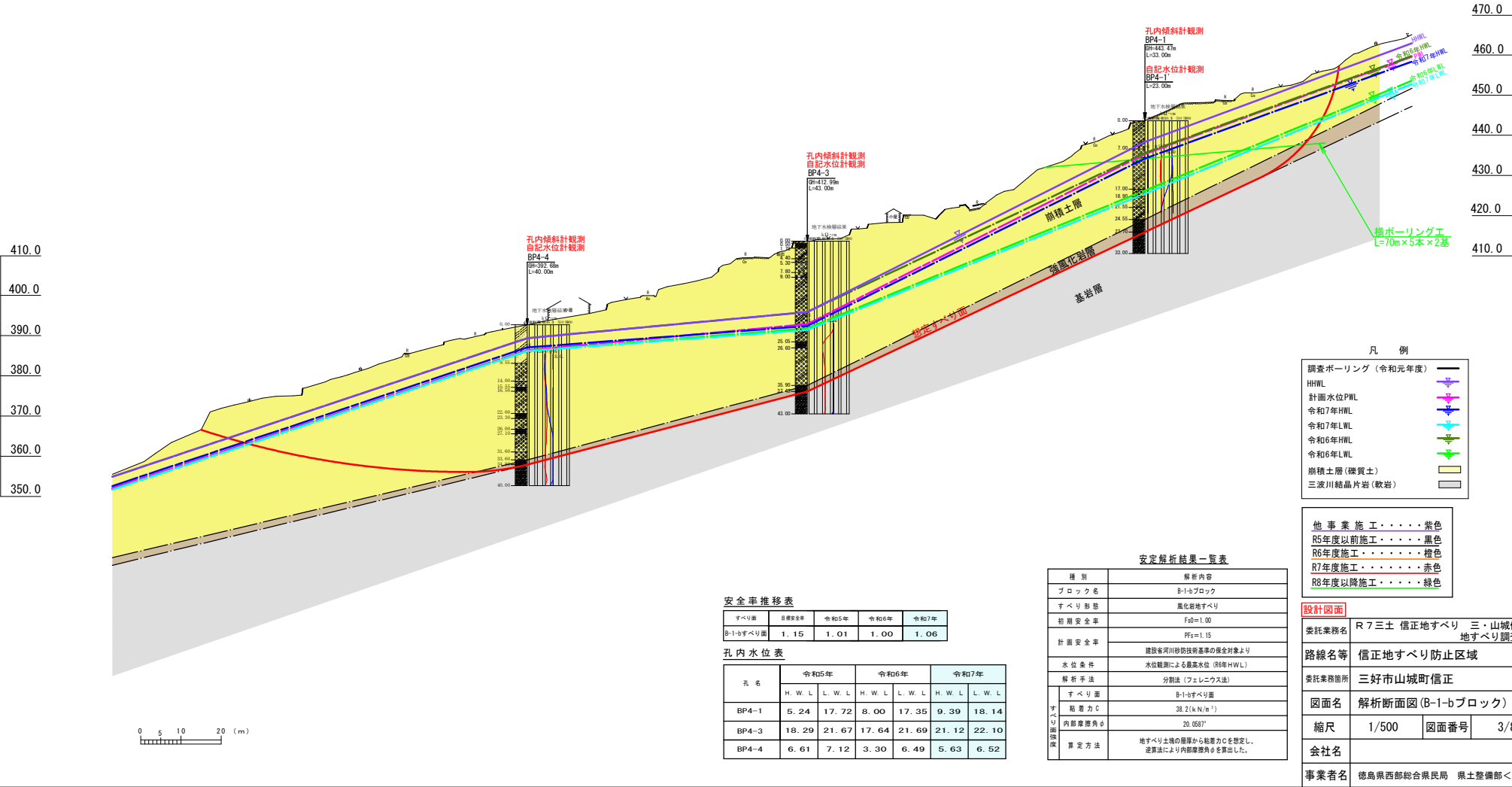
種別	解析内容
ブロック名	A-1-aブロック
すべり形態	崩積土すべり
初期安全率	Fs0=1.00
計画安全率	Fs=1.15
水位条件	国土交通省河川砂防技術基準の保全対象より
解析手法	分割法 (フェニクス法)
すべり面	A-1-aすべり面
粘着力C	11.10 (kN/m <sup>2</sup> )
内部摩擦角φ	24.6153°
算定方法	地すべり土壌の層厚から粘着力Cを想定し、逆算法により内部摩擦角φを算出した。

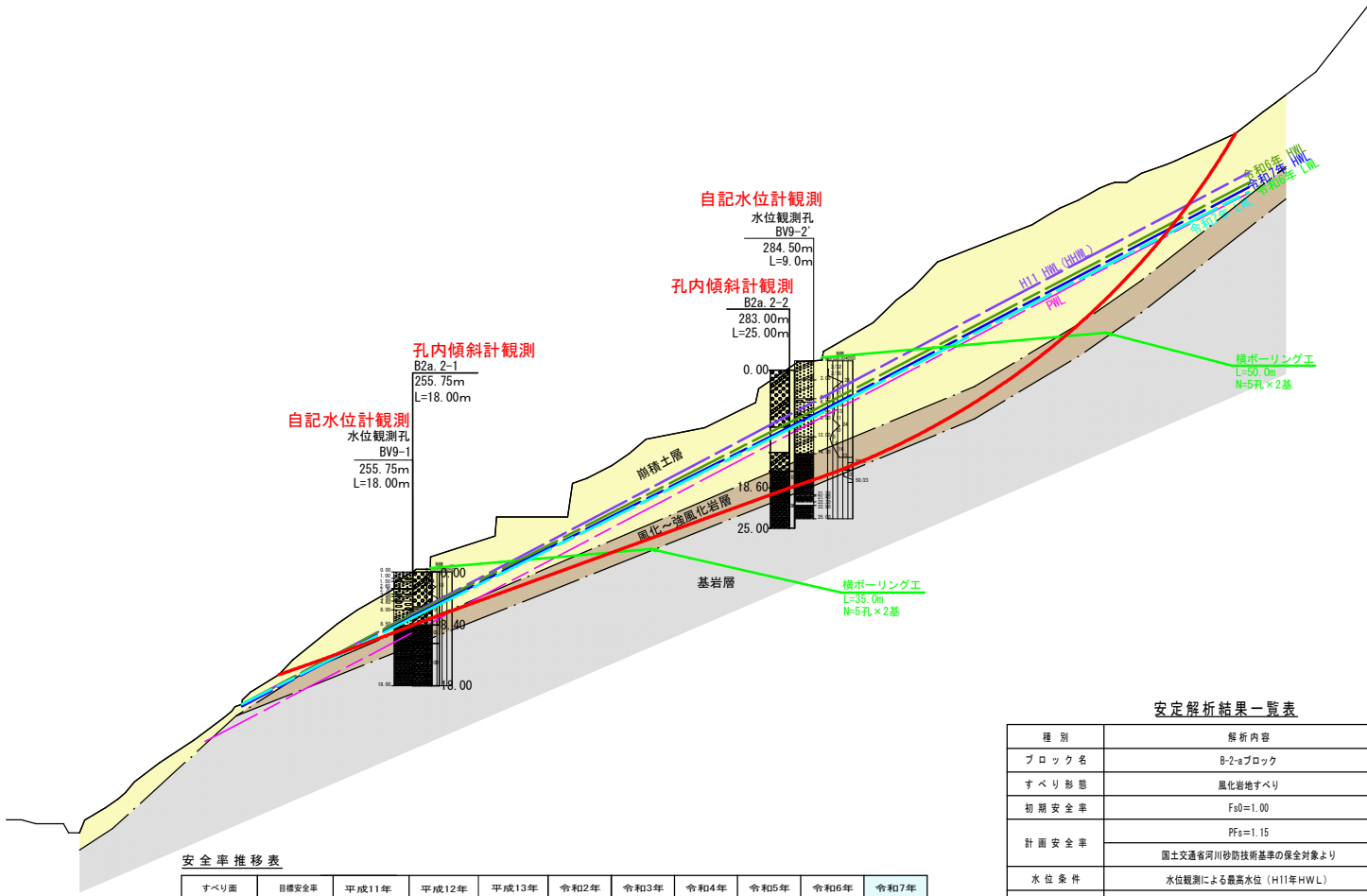
凡例	
調査ボーリング (令和元年度)	—
HHWL	—
計画水位PWL	—
令和7年HWL	—
令和7年LWL	—
令和6年HWL	—
令和6年LWL	—
崩積土層 (礫質土)	—
三波川結晶片岩 (軟岩)	—

他事業施工	..... 紫色
R5年度以前施工	..... 黒色
R6年度施工	..... 緑色
R7年度施工	..... 赤色
R8年度以降施工	..... 青色

設計図面

委託業務名	R7三土 信正地すべり 三・山城信正地すべり調査業務		
路線名等	信正地すべり防止区域		
委託業務箇所	三好市山城町信正		
図面名	解析断面図 (A-1-aブロック)		
縮尺	1/500	図面番号	2/8
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局 県土整備部<三好>		





安全率推移表

すべり面	目標安全率	平成11年	平成12年	平成13年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
B-2-aすべり面	1.15	1.00	1.01	1.05	1.05	1.08	1.04	1.05	1.05	1.08

孔内水位表

孔名	平成11年		平成12年		平成13年		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年		令和7年	
	H.W.L	L.W.L	H.W.L	L.W.L	H.W.L	L.W.L	H.W.L	L.W.L	H.W.L	L.W.L	H.W.L	L.W.L	H.W.L	L.W.L	H.W.L	L.W.L	H.W.L	L.W.L
BV9-1	6.55	—	6.59	—	6.95	—	6.83	7.27	6.94	7.21	6.68	7.20	6.76	7.19	6.66	7.22	7.01	7.24
BV9-2'	6.52	—	7.67	—	7.65	—	8.24	8.86	8.53	8.85	7.97	8.84	7.99	8.84	7.80	8.84	8.54	8.84

安定解析結果一覧表

種別	解析内容
ブロック名	B-2-aブロック
すべり形態	風化岩地すべり
初期安全率	$Fs0=1.00$
計画安全率	$Pfs=1.15$
水位条件	国土交通省河川砂防技術基準の保安対象より
解析手法	分割法 (フェレニウス法)
すべり面	B-2-aブロック
粘着力C	14.38 (kN/m <sup>2</sup> )
内部摩擦角φ	35.0934°
算定方法	地すべり土壌の層厚から粘着力Cを想定し、逆算法により内部摩擦角φを算出した。

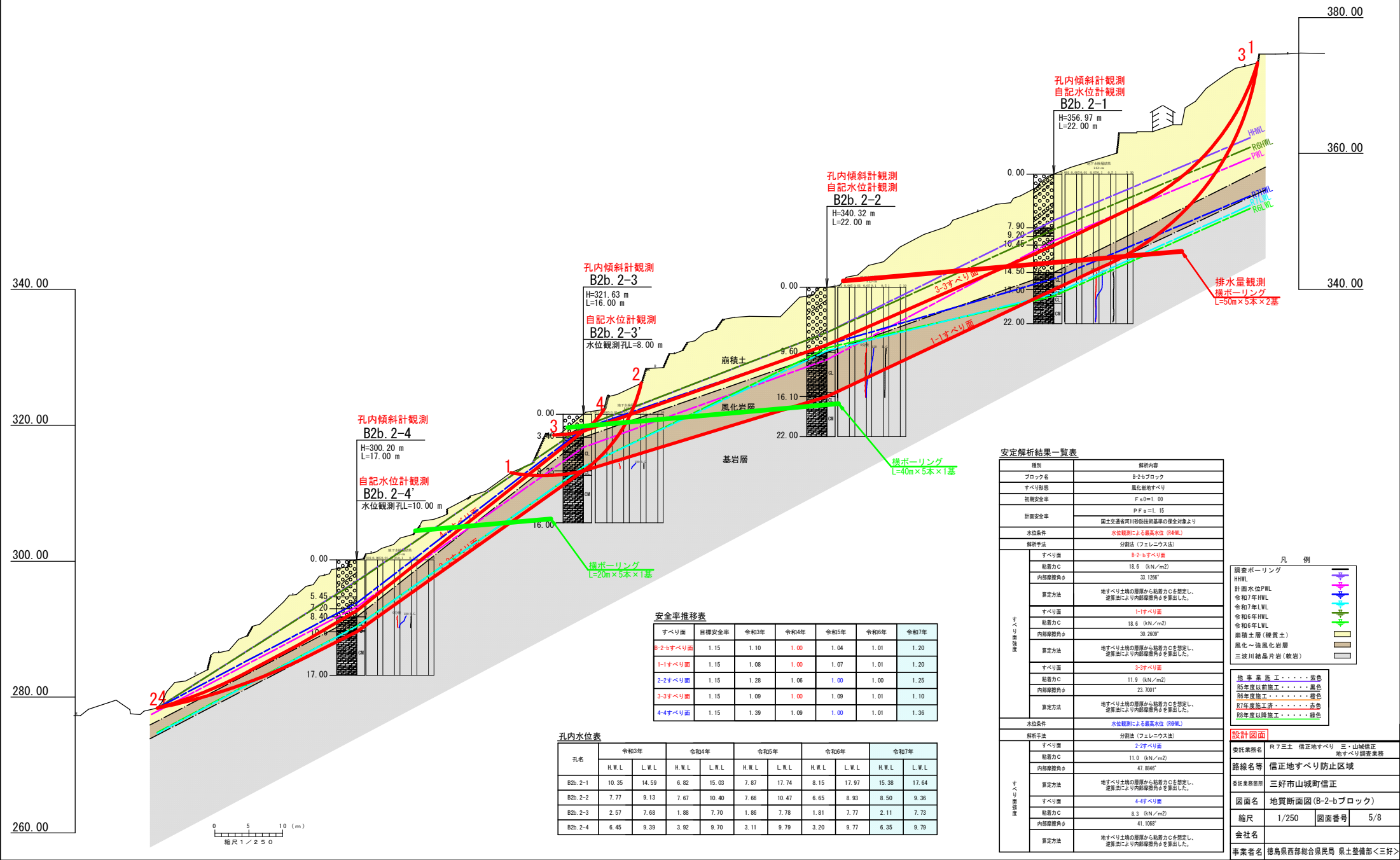
凡例

調査ボーリング (令和2年度再設置孔)	—
HHWL	—
計画水位PWL	—
令和7年HWL	—
令和7年LWL	—
令和6年HWL	—
令和6年LWL	—
崩積土層 (礫質土)	—
風化～強風化岩層	—
三波川結晶片岩 (軟岩)	—

他事業施工・・・・・・紫色  
R5年度以前施工・・・・・・黒色  
R6年度施工・・・・・・橙色  
R7年度施工・・・・・・赤色  
R8年度以降施工・・・・・・緑色

設計図面

委託業務種別	R7三波川橋正地すべり 三・山城橋正地すべり調査業務
路線名等	橋正地すべり防止区域
委託業務箇所	三好市山城町橋正
図面名	解析断面図 (B-2-aブロック)
縮尺	1/800
図面番号	4/8
会社名	
事業寄名	徳島県西部総合振興局 橋土整備部<三好>



安全率推移表							
すべり面	目標安全率	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	
B-2-bすべり面	1.15	1.10	1.00	1.04	1.01	1.20	
1-1すべり面	1.15	1.08	1.00	1.07	1.01	1.20	
2-2すべり面	1.15	1.28	1.06	1.00	1.00	1.25	
3-3すべり面	1.15	1.09	1.00	1.09	1.01	1.10	
4-4すべり面	1.15	1.39	1.09	1.00	1.01	1.36	

孔名	令和3年		令和4年		令和5年		令和6年		令和7年	
	H.W.L	L.W.L	H.W.L	L.W.L	H.W.L	L.W.L	H.W.L	L.W.L	H.W.L	L.W.L
B2b. 2-1	10.35	14.59	6.82	15.03	7.87	17.74	8.15	17.97	15.38	17.64
B2b. 2-2	7.77	9.13	7.67	10.40	7.66	10.47	6.65	8.93	8.50	9.36
B2b. 2-3	2.57	7.68	1.88	7.70	1.86	7.78	1.81	7.77	2.11	7.73
B2b. 2-4	6.45	9.39	3.92	9.70	3.11	9.79	3.20	9.77	6.35	9.79

安定解析結果一覧表		
	種別	解析内容
すべり面強度	ブロック名	B-2-bブロック
	すべり形態	風化岩地すべり
	初期安全率	$F_{s0}=1.00$
	計画安全率	$PF_{s0}=1.15$
	水位条件	国土交通省河川砂防技術基準の保安対象より 水位観測による最高水位 (R6HL)
	解析手法	分割法 (フェレニウス法)
	すべり面	B-2-bすべり面
	粘着力C	18.6 (kN/m <sup>2</sup> )
	内部摩擦角φ	33.126°
	算定方法	地すべり土壌の層厚から粘着力Cを想定し、 逆算法により内部摩擦角φを算出した。
	すべり面	1-1すべり面
	粘着力C	18.6 (kN/m <sup>2</sup> )
内部摩擦角φ	30.269°	
算定方法	地すべり土壌の層厚から粘着力Cを想定し、 逆算法により内部摩擦角φを算出した。	
すべり面強度	すべり面	3-3すべり面
	粘着力C	11.9 (kN/m <sup>2</sup> )
	内部摩擦角φ	23.7001°
	算定方法	地すべり土壌の層厚から粘着力Cを想定し、 逆算法により内部摩擦角φを算出した。
	水位条件	水位観測による最高水位 (R6HL)
	解析手法	分割法 (フェレニウス法)
	すべり面	2-2すべり面
	粘着力C	11.0 (kN/m <sup>2</sup> )
	内部摩擦角φ	47.884°
	算定方法	地すべり土壌の層厚から粘着力Cを想定し、 逆算法により内部摩擦角φを算出した。
	すべり面	4-4すべり面
	粘着力C	8.3 (kN/m <sup>2</sup> )
内部摩擦角φ	41.106°	
算定方法	地すべり土壌の層厚から粘着力Cを想定し、 逆算法により内部摩擦角φを算出した。	

凡 例

調査ボーリング  
HHWL  
計画水位PWL  
令和7年HWL  
令和6年HWL  
令和6年LWL  
崩積土層 (礫質土)  
風化～強風化岩層  
三波川結晶片岩 (軟岩)

地 事 業 施 工  
R5年度以前施工・・・・・・紫色  
R6年度施工・・・・・・黄色  
R7年度施工・・・・・・赤色  
R8年度以降施工・・・・・・緑色

設計図面

委託業務名 R7三土 信正地すべり 三・山城信正 地すべり調査業務

路線名等 信正地すべり防止区域

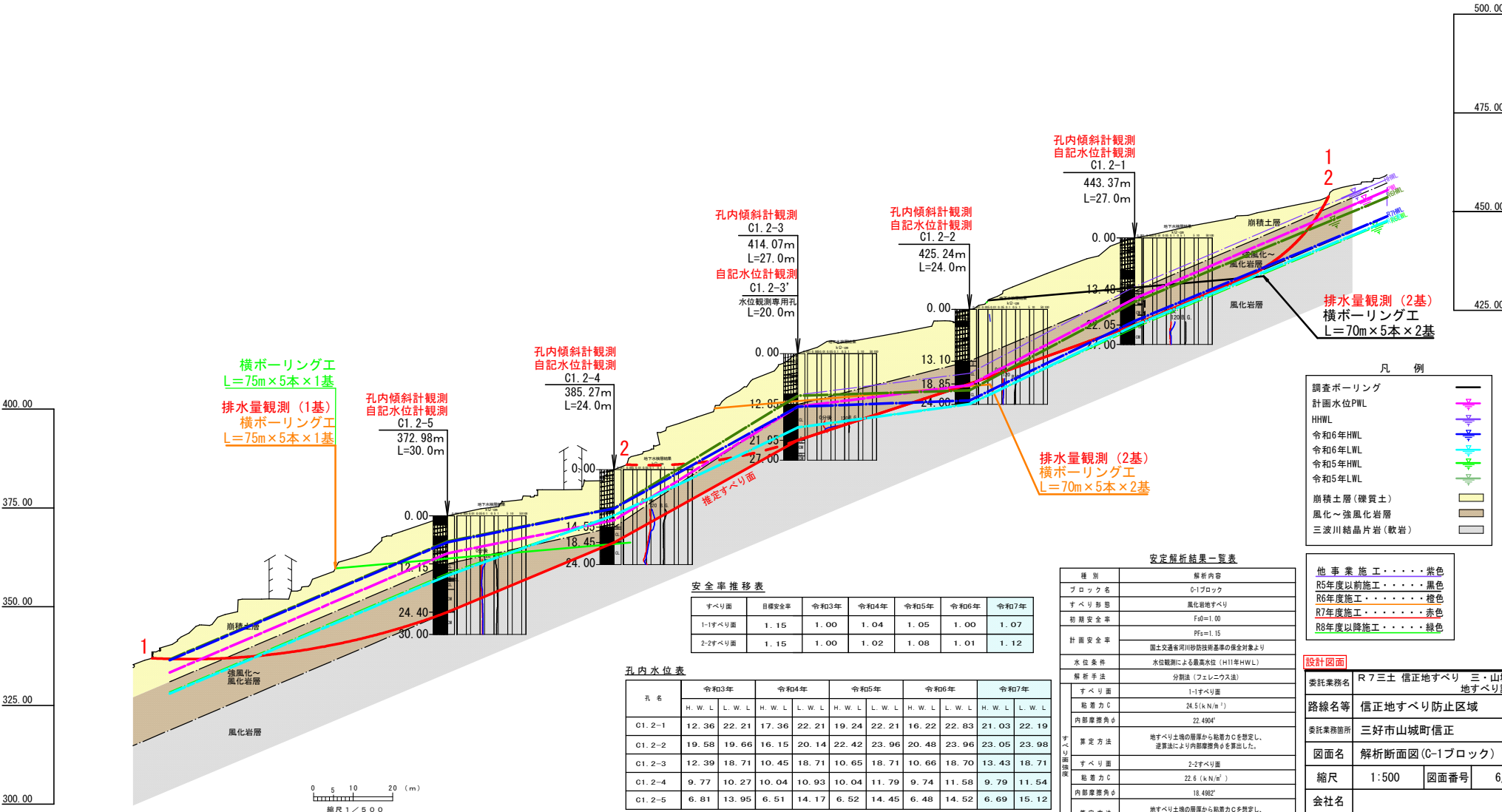
委託業務箇所 三好市山城町信正

図面名 地質断面図 (B-2-bブロック)

縮尺 1/250 図面番号 5/8

会社名

事業者名 徳島県西部総合県民局 県土整備部<三好>



安全率推移表

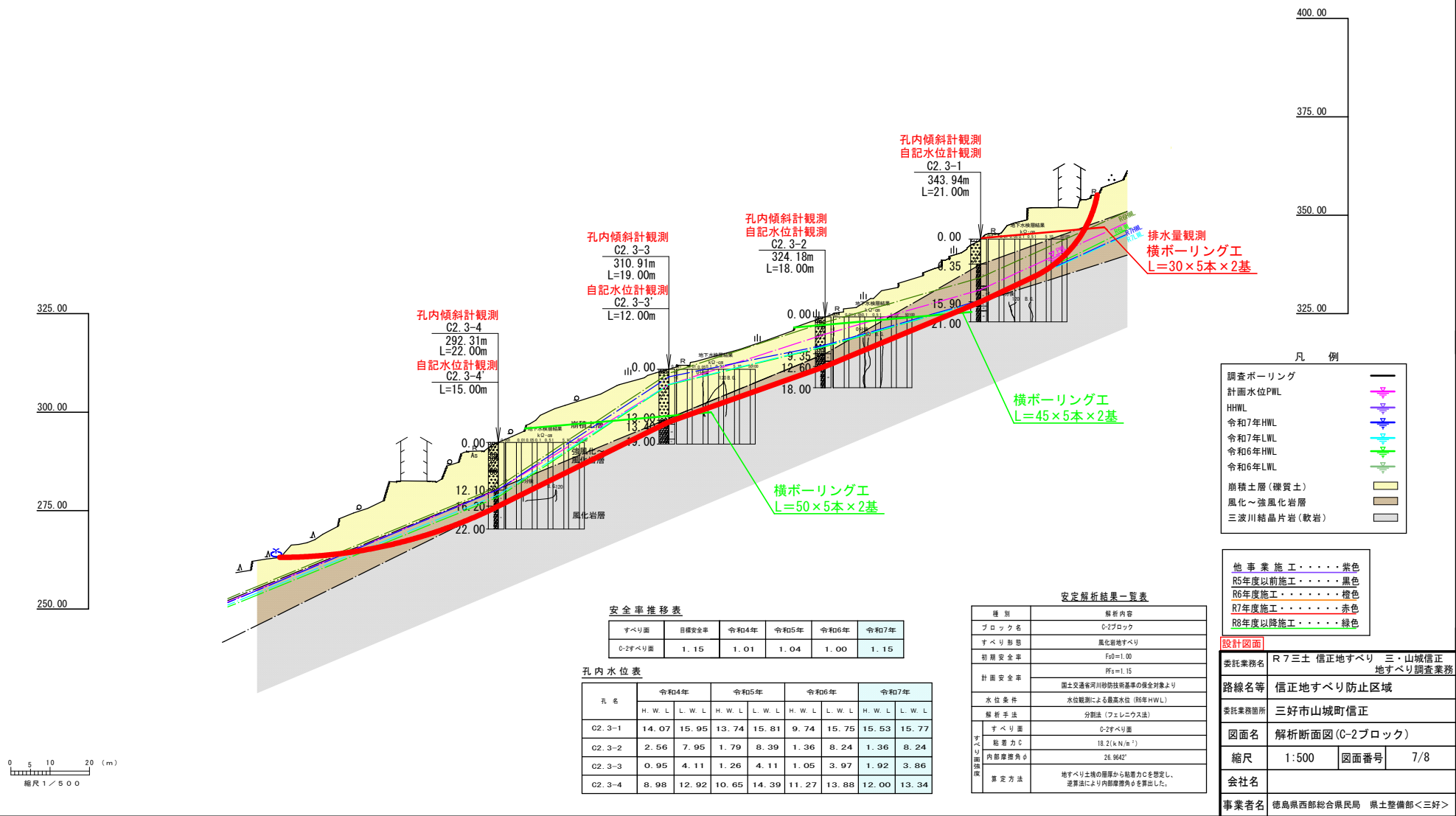
すべり面	目標安全率	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
1-1すべり面	1.15	1.00	1.04	1.05	1.00	1.07
2-2すべり面	1.15	1.00	1.02	1.08	1.01	1.12

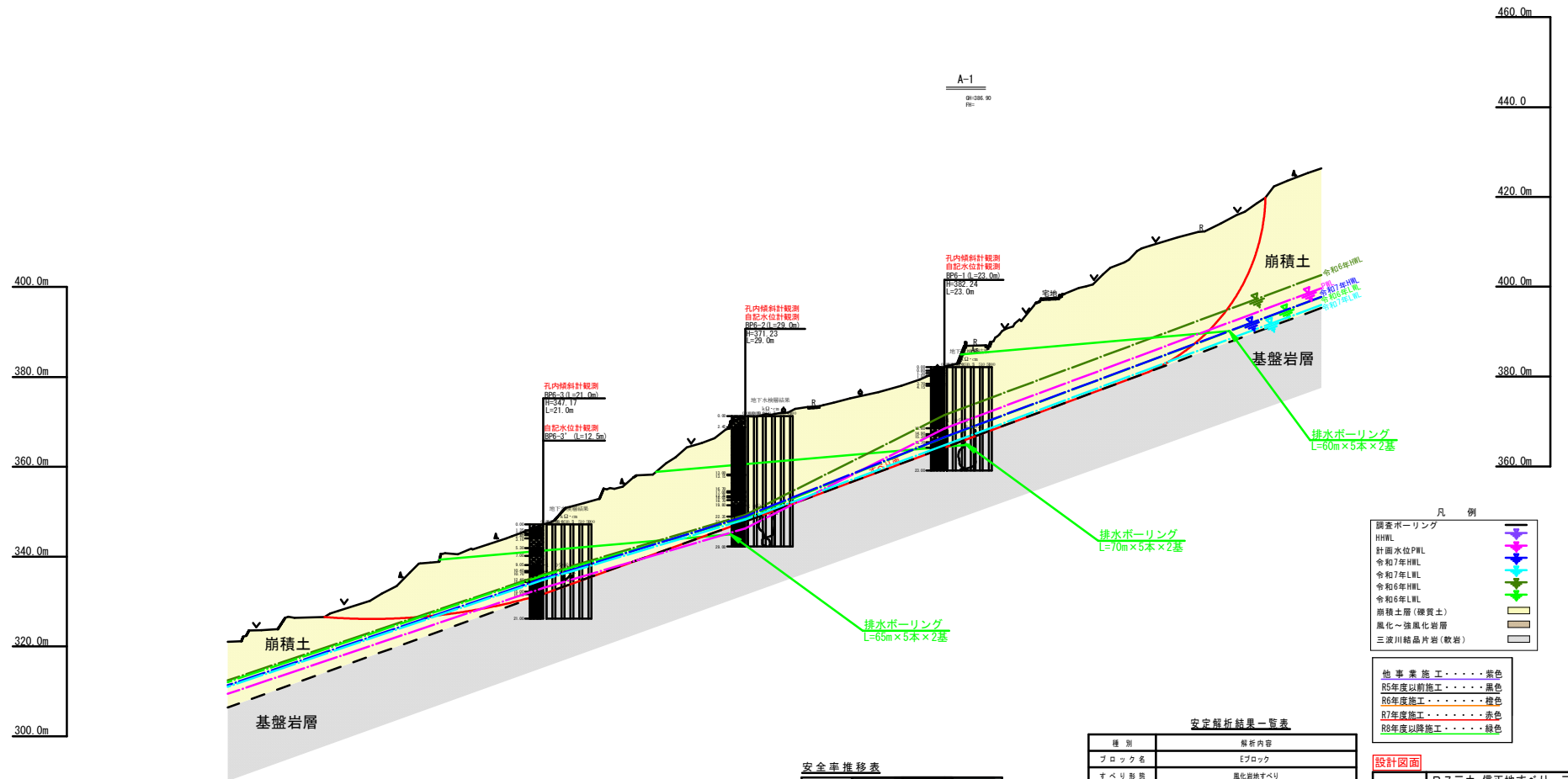
孔内水位表

孔名	令和3年		令和4年		令和5年		令和6年		令和7年	
	H.W.L	L.W.L	H.W.L	L.W.L	H.W.L	L.W.L	H.W.L	L.W.L	H.W.L	L.W.L
C1.2-1	12.36	22.21	17.36	22.21	19.24	22.21	16.22	22.83	21.03	22.19
C1.2-2	19.58	19.66	16.15	20.14	22.42	23.96	20.48	23.96	23.05	23.98
C1.2-3	12.39	18.71	10.45	18.71	10.65	18.71	10.66	18.70	13.43	18.71
C1.2-4	9.77	10.27	10.04	10.93	10.04	11.79	9.74	11.58	9.79	11.54
C1.2-5	6.81	13.95	6.51	14.17	6.52	14.45	6.48	14.52	6.69	15.12

安定解析結果一覧表

種別	解析内容
ブロック名	C-1ブロック
すべり形態	風化岩地すべり
前期安全率	Fs0=1.00
計画安全率	Fsa=1.15
水位条件	国土交通省河川砂防技術基準の保全対象より
解析手法	水位観測による最高水位 (H11年HWL)
すべり面	分割法 (フェレニウス法)
すべり面	1-1すべり面
粘着力C	24.5 (kN/m <sup>2</sup> )
内部摩擦角φ	22.4904°
すべり面	2-2すべり面
粘着力C	22.6 (kN/m <sup>2</sup> )
内部摩擦角φ	18.4882°
解析手法	地すべり土壌の層厚から粘着力Cを想定し、逆算法により内部摩擦角φを算出した。





凡 例

調査ボーリング	
HWL	
計画水位PHL	
令和7年HWL	
令和7年LWL	
令和6年HWL	
令和6年LWL	
崩積土層 (礫質土)	
風化～強風化岩層	
三波川結晶片岩 (軟岩)	

他 事 業 施 工

R5年度以前施工	紫色
R6年度以前施工	黒色
R6年度施工	緑色
R7年度施工	赤色
R8年度以降施工	青色

安全率推移表

すべり面	目標安全率	令和6年	令和7年
Eすべり面	1.15	1.00	1.06

孔内水位表

孔 名	令和6年			令和7年		
	H. W. L.	L. W. L.		H. W. L.	L. W. L.	
BP6-1	10.65	15.62		15.57	17.37	
BP6-2	21.96	22.59		22.31	23.00	
BP6-3	11.16	11.40		12.08	12.36	

安定解析結果一覧表

種 別	解析内容
ブ ロ ッ ク 名	Eブロック
す べ り 形 態	風化岩地すべり
初 期 安 全 率	$F=0.91$
計 画 安 全 率	$F=1.15$
水 位 条 件	国土交通省河川砂防技術基準の保安対象より 水位観測による最高水位 (R6年HWL)
解 析 手 法	分割法 (フェニックス法)
す べ り 面	Eすべり面
粘 着 力 C	$28.1 (kN/m^2)$
内 部 摩 擦 角 φ	$18.7 (度)$
算 定 方 法	地すべり土壌の層から粘着力Cを想定し、 逆算法により内部摩擦角φを算出した。

設計図面

委託業務名	R7三土 信正地すべり 三・山城信正 地すべり調査業務		
路線名等	信正地すべり防止区域		
委託業務箇所	三好市山城町信正		
図面名	解析断面図 (Eブロック)		
縮 尺	1/500	図面番号	8/8
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局 県土整備部<三好>		

DL=270.000

0 5 10 20 (m)  
縮 尺 1 / 5 0 0